



ほんものを たべよう

提出日	11/火	水	木	金
	22	23	24	25
配達日	11/火	水	12/木	金
	29	30	1	2
翌々週分配達日	12/火	水	木	金
	6	7	8	9

2016. 12月1 週号

Alter Weekly Order Catalogue

オルターの提案

- 本当に安全な食べものを手渡すために
- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
 - 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
 - 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
 - プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

竹布製品 TAKEFU

竹布ガーゼが あなたを守ります

家庭で常備されることをおすすめします。

(株)ナファ生活研究所 一般社団法人 空飛ぶ竹ガーゼ社

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)



相田 雅彦代表

なめらかな肌触り

(株)ナファ生活研究所 相田 雅彦代表は、オルターカタログ2012年6月5週号で詳しくご紹介したように、生活の様々な場面でたいへん役立つ「竹布」を開発しています。

竹布はシルクと木綿を足したような、たいへんなめらかな肌触りの快適な繊維です。抗菌性、消臭性、吸湿性、静電性に優れ、保温効果、血流量をアップする効果にも優れています。

傷口をやさしく包みます

特に、ガーゼ織りした竹布「守布」は、ケガをした時に使う医療用ガーゼの代用としてたいへん活躍します(竹布ガーゼは医療用の許可をまだ取得していません)。

竹布は抗菌性に優れていますので、傷口をバイ菌から守ります。たいへん柔らかく、傷口に癒着しませんので、傷口をやさしく包みます。血流量がアップしますので、傷の治りが早くなるのが期待できます。

「守布」は赤ちゃんの沐浴、手拭き、保湿・保護(パック)、メイク落としなど、美容や介護の用途にも最適です。

筒状のガーゼ包帯

相田さんは「守布」のほか、竹布ガーゼ製品をいろいろ開発しています。腕用、脚用、首用として使う筒状のガーゼ包帯、手袋(大人用、赤ちゃん用)などです。それぞれケガの際にガーゼとして使用することが可能です。インナー手袋や包帯としての活用他、軽い防寒や日よけにも役立ちます。

アトピーのかゆみに

また、アトピーなどでかゆくてたまらないときに使用すると、全方向に動き、力を分散し、縫い目もなく(刺激にならない)、破れにくく、肌にキズをつけにくいので、掻けないストレスから解放します。

料理にも活躍

竹布ガーゼ「守布」には合成洗剤、蛍光増白剤などの使用がありませんので、食べものに触れる使い方をしても安心です。絞り布、水切り布、だし濾し布、蒸し布、味噌や糠などの漬け込み、豆腐作り、菓子作りなどに使えます。吸湿性、保湿性が高いので、食材の乾燥防止にも使えます。

こんなことにも大活躍

竹布はふきんにたいへん向いています。天然のマイクロファイバーですので、洗浄時、石けんの使用量は1/3になります。抗菌性がありますので、カビや雑菌も繁殖しにくく衛生的で、臭いしません。マスク、タオル、生理用ナプキンなどの素材としても優れています。風呂場に吊るしておいてもタオルはカビくさくなりません。抗菌性があり、温かく感じますのでナプキンとしてもたいへんおすすめです。

水虫対策、しもやけ対策用靴下として向いています。耐久性は綿(コットン)とシルクの間くらいですので、他の靴下との重ねばきもおすすめします。

靴下もTシャツも数日着ていても臭いが抑えられますので災害時には助かります。

竹布ショールを夜泣きの子にかけると、3秒で泣きやんだことがあります。多動性の子に掛けてやると穏やかになり、眠くなったりします。竹布が体の筋肉を緩め、気持ちを良くするからかもしれません。竹布のシーツや枕カバーに寝るのもとっても気持ちがよいのでおすすめです。

ナファ生活研究所の 竹布製品

●原料

竹・・・中国四川省・雲南省で自生している慈竹

●製造工程

中国四川省 パルプ工場

- 1 竹をチップにする
- 2 竹チップをカセイソーダーでボイルし、竹セルロースを分解する(板状)。カセイソーダーは回収され、リサイクルします。
- 3 竹セルロースを二硫化炭素で煮て、ほぐし、とくす
- 4 希硫酸の中に、とけたセルロースを噴出させ湿式紡糸する

5 生地織り

6 裁断、縫製

漂白剤の使用はありません。
染色にはエコ染料を使っています。
※ガーゼ製品のみ、5⑤6を日本で行っています。



<洗濯について>

- ・竹布は大変やわらかい繊維です。洗濯機をご使用の際は、必ず洗濯ネットに入れ、弱水流で洗ってください。
- ・漂白剤、蛍光増白剤入りの洗剤及び柔軟剤のご使用はお避けください。
- ・乾燥機のご使用はお避けください。縮みの原因になります。
- ・ドライクリーニングはお避けください。
- ・洗剤は、アルカリ度の強くないものをお使いください。
- ・干す際は、特に夏場の直射日光は避け風通しの良い日陰干しをお願いします。

<傷に抗菌剤は危険>

化学的な抗菌剤を使って、裂傷や火傷、手術の傷などがなかなか治らず、ついには生命を落とすケースが後を絶ちません。西洋医学の傷の治療としては、通常は化学薬品である抗菌剤が使われます。病原菌の方は強い細胞膜で体を鎧のように守っているのに、人体の細胞は柔らかい原形質膜で覆われているだけですので、傷口に抗菌剤を塗るとやっつけた細菌には効きにくく、自分のデリケートな細胞の方が却ってダメージを受け、傷口が壊死していくということになります。

そんな場合に竹布のガーゼを知っていると生命を救えます。馬油を併用すればよりいっそう効果的です。ケガに備えて竹布ガーゼを家に常備されることをおすすめします。